

種子は商品です。クレームの無い 優良種子を生産しましょう。

★種子粃の刈取適期の目安は、帯緑色粃率で3%★

穂の下の方に残っている **黄緑色の粃(帯緑色粃)** の割合を見て判断しましょう!!



穂の下の方は
黄緑色!

平均的な生育箇所の5〜6本の穂をまとめて握ってみる。下の方でうっすらと黄緑色をした粃の割合で判断する。3%が適期(不稔粃は含めない)

(参考:「安心イネづくり」P.82(農文協))

①【刈取り時】の5つの留意事項

ぬれた粃や水分の高い粃は品質低下(ムシ粃等)の原因になります。

留意① 雨上がりや朝露でぬれているときは刈取らない。水分25%以下で刈取る。

倒伏や成熟むらのところには未熟な粃・穂発芽した粃が混じり、発芽率を落とします。

留意② 倒伏(なびき含む)や成熟むらは刈り分け、種子として出荷しない。

交雑した種子を種子センターへ搬入することは大きな混種事故へ繋がります。

留意③ 異品種ほ場と開花期の差が10日未満の場合、10m以内は種子として出荷しない。

こき胴の回転が速いと粃が傷つき、割粃・脱ぶ粒が増えて発芽率が下がります。

留意④ こき胴回転数は、稲用回転数の最低〜標準の1割減で行う。

刈り終えてからの品質確認では手遅れです。種子に使えなくなることもあります。

留意⑤ 試し刈りで割粃・脱ぶ粒・枝梗が無いことを確認してから本刈りに入る。

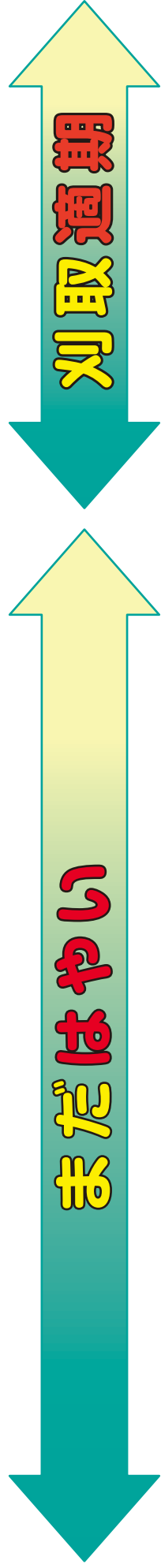
②【乾燥・調製時】の2つの留意事項

刈取った粃を高水分のまま積んでおくと、発酵して変質し、発芽率が下がります。

留意① 刈取り後は速やかに乾燥する。

芒が残ると播種作業の妨げになります。

留意② 入念な脱芒を行い、風選・比重選でいねいに選別する。



帯緑色
籾率

15%



10%



3%